様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療職業実践専門課程	歯科衛生士学科	夜・通信	104 単位	9 単位	
	言語聴覚士学科	夜・通信	49 単位	12 単位	
	音楽療法士学科	夜・通信	25 単位	9 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ　https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose 情報公開　「歯科衛生士学科」「言語聴覚士学科」「音楽療法士学科」

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ　https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose 情報公開　「役員名簿」

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	2023.2.20 ～ 2027.3.31	法令遵守に関するチェック機能
非常勤	歯科医師	2023.2.20 ～ 2027.3.31	学校運営に関する医療専門家としてのチェック機能
非常勤	元通信制高校校長	2023.2.20 ～ 2027.3.31	高校を運営していた立場からの法人経営に関する提言機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ○シラバスの作成過程(プロセス) ・各学科、養成所規程に則り授業計画を作成する。 歯科衛生士学科は、歯科衛生士学校養成所指定規程に則る。 言語聴覚士学科は、言語聴覚士学校養成所指定規程に則る。 音楽療法士学科は、日本音楽療法学会が定める「カリキュラムに関するガイドライン 11」に則る。 ・教育課程編成委員会で、授業計画を確認。 規程に合わせて、年度の授業計画に反映させる。 ・教育課程編成委員会の合意を経て、学科長が全教員に、シラバス作成を依頼 ・全教員が各学科にシラバスを提出。 ・学科でシラバスを点検して、記載事項に不備のあるシラバスの再提出を学科長が依頼。 ・該当教員が学科に、シラバスを再提出。 ・教育課程編成委員会が、シラバスを再点検。 ○シラバス作成時期　10 月下旬から 2 月末日まで ○シラバス公表時期　4 月 1 日
授業計画書の公表方法：https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose 「歯科衛生士学科」、「言語聴覚士学科」、「音楽療法士学科」
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

成績の評価及び履修認定に関する規程は次のとおり。

長野医療衛生専門学校　学則・第４章・第 23 条に授業科目履修の認定について記載

（授業科目履修の認定）

第 23 条　授業科目の履修に関しては、授業時間数の３分の２以上出席し、試験に合格した者に、所定の単位を与える。ただし平素の学習状況又は論文等をもって試験に代えることができる。

２　試験の成績の評価は、秀、優、良、可又は不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。

３　前項の秀は 90 点、優は 80 点、良は 70 点、可は 60 点割を基準とし、総合的な評価を行なう。

以上のように、学則に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与及び履修認定を実施している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

GPA 等の客観的な指標の具体的な内容

１　成績評価の適切な取組の概要

本校の成績評価に関しては、担当教員(評価者)が、授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ明示して客観的な成績評価に努めている。学生には学生要覧を配布して周知し、HP 上でも公開している。

成績評価については、「秀(90点)、優(80点)、良(70点)、可(60点)、不可」の５段階で評価し、可以上で合格となる。また，GP（Grade Point）としては、「秀は4.0、優は3.0、良は2.0、可は1.0、不可は0.0」とする。

GPA 算出式

$$\text{ＧＰＡ}= \frac{\text{（履修科目の単位数×ポイント）の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$$

客観的な指標の 算出方法の公表方法	在校生の方へ https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/student

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

○卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

本校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位数を取得した学生は卒業が認定される。

Ⅰディプロマポリシー（卒業認定・称号授与の方針）

本校が定める単位を修得し卒業が認められ、歯科衛生・言語聴覚・音楽療法の基盤となる優れた専門性をもち、臨床現場で創造的に実践する確かな技術力や、思いやりの心をもつ豊かな人間性を備えたと認められる者に、専門士及び高度専門士の称号を授与します。

（卒業時に取得できる資格）

卒業に必要な単位を修得することで、下記の国家試験・学会試験の受験資格が得られます。

・歯科衛生士国家試験受験資格
・言語聴覚士国家試験受験資格
・日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格試験受験資格

Ⅱカリキュラムポリシー（教育課程編成とその運用の方針）

① 本校は、医療・福祉に携わる者として、優れた専門性と豊かな人間性を兼ね備えた学生を育成することを教育理念とし、学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目や臨床実習を開設し、体系的な教育課程を編成します。

② 本校が設置する学科は、それぞれの専門分野に関する高度な知識及び技術を教授・研究し、歯科医院や病院、医療関係施設等の実習施設と連携した教育課程の編成を行うことにより、医療人として受容的な態度をもち、適切な技術と患者様ひとりひとりのニーズを理解し支援できる優れた専門士及び高度専門士を育成します。

Ⅲアドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

本校は、優れた専門性と豊かな人間性を兼ね備えた学生を育成することを教育目標としており、次のような素養を備えた学生を求めています。

（求める学生像）

① 医療・福祉分野に関する専門的な知識や技術を修得するために、自発的・意欲的に学び、専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識をもっている者

② 積極的に社会に関わり、様々な立場の人に対して個性を尊重し、興味・関心を持って温かく接することのできる高い倫理観を持っている者

③ 日々、進歩する医療・福祉分野に適用していくために、自ら進んで課題を探求し、柔軟な思考力と判断力で解決しようとするチャレンジ精神をもっている者

卒業の認定に関する方針や学生の修得単位を踏まえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	学則 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	貸借対照表 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose
収支計算書又は損益計算書	資金収支計算書 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose
財産目録	固定資産明細表 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose
事業報告書	事業報告書 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose
監事による監査報告（書）	監査報告書 https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
医療		医療職業実践専門課程	歯科衛生士学科		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	158 ／単位	138 単位	0 単位	20 単位	0 単位	0 単位
			158 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
84 人	51	0 人	4 人	35 人	39 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 歯科衛生士学校養成所指定規則に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 秀 90 点、優 80 点、良 70 点、可 60 点、不可 60 点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。
学修支援等
（概要） 資格未取得者で国家試験再受験を希望する者については、卒業後も支援を継続する。 復職を希望する卒業生には、個別対応による支援を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 （100%）	人 （　　%）	20 人 （　　100%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等） 病院（歯科）、診療所（歯科）			
（就職指導内容） 歯科・医療業界に対する知見を深めるセミナーの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士（国家資格）の取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	5 人	8.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更（就職）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・三者面談の実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療職業実践専門課程	言語聴覚士学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	156 ／単位	103 単位	0 単位	17 単位	10 単位	26 単位
			156 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	57	0 人	6 人	20 人	26 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 言語聴覚士学校養成所指定規則に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 秀 90 点、優 80 点、良 70 点、可 60 点、不可 60 点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。

学修支援等
（概要） 国家試験特別講義　60 コマ 模擬試験　4 月～12 回

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （100%）	人 （　　%）	2 人 （　　22.2%）	7 人 （　　77.8%）
（主な就職、業界等） 医療機関（リハビリテーション部門） 補聴器センター			
（就職指導内容） 職場見学・斡旋・就職説明会開催、求人開示、相談 履歴書・エントリーシート記入、小論文、面接試験指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士（国家資格）、高度専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	4 人	7.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・三者面談（教育相談）の実施 定期面談後の学科内共有 QU アンケートの実施		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療職業実践専門課程	音楽療法士学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	121 ／単位	80 単位	0 単位	8 単位	0 単位	33 単位	
			121 単位					

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
45 人	25 人	0 人	4 人	8 人	12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 日本音楽療法士学会が定める「カリキュラムに関するガイドライン 1-1」に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 秀 90 点、優 80 点、良 70 点、可 60 点、不可 60 点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。
学修支援等
（概要） カリキュラムガイドラインにはない本校独自の授業を開講し取り組んでいる。 独自開講科目：音楽療法士補対策、模擬試験、ライティング

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	0 人 （ 0%）	7 人 （100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 介護老人福祉施設、病院、保育園など			
（就職指導内容） キャリア・デザインの授業の中で就活設計、履歴書の書き方、試験・面接対策指導等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 音楽療法士（日本音楽療法学会認定資格）、保育士（国家資格）、 介護職員初任者研修修了			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由） 該当者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・三者面談の実施、学生支援委員会の開催		